



『QCサークル』誌 2025年2月号 見どころ、読みどころ

★トップからのメッセージ

p. 2～

グローリー㈱ 代表取締役社長 原田 明浩さん

私は「日々改善」という言葉を大事にし、つねに新しいことに挑戦し続け、改善をしていかなければならないと考えています。現場第一線で働いていた頃から、職場の困りごとや問題点に次々と取り組みました。まさに日々改善であり、当社が導入から絶え間なく継続している QC サークル活動こそが、「世界一の製品品質」を根底で支えていると思います。また人材育成の一環としても不可欠な活動であると強く意識しています。

★ザ・ショット 写真で綴る QC サークル紀行

p. 5～

㈱ヨコオ 富岡工場

今回は、QC サークル活動を二度休止しながらも、製造の底力をつけるのに QC 的な考え方は“基本のキ”とし、三度目にして着実に成果を上げている企業を訪ねます。再開時はごく一部の部署から始動し、今では全部門といえるまでに QC サークル活動の裾野が広がっています。この活動の推進力として、全社発表会に社長が必ず参加することで経営トップが QC サークル活動を重視していることをサークルメンバーに伝える姿勢や、海外生産拠点における QC サークル活動の頑張りぶりが日本国内のサークルに刺激をもたらしていることが挙げられそうです。どのようにして QC サークル活動をしっかりと浸透させたのか話を聞いてきました。

★特集：活動の本質と改善の事実を普段着で伝えよう！

p. 9～（サークル、運営/推進）

QC サークル発表会について、発表資料づくりに負担がかかっていると感じるメンバーも多いようです。発表会は、「読んで理解のできる資料づくり」と、聞いて納得のできる説明の仕方を学び、まとめる能力を身につけることができます。今回の特集では、これまでの発表会に疑問を持ったサークルが、自分たちの目線に立って発表の仕方を見直した事例を 11 件紹介します。発表会のあり方でお困りのみなさんはぜひ参考になさってください。

★推進者のページ：こんな推進者になりたい ～役割とその責任を理解し実践する～

p. 23（役員幹部、運営/推進）

第2回 トップの本音を聞いてみる

本ページでは、今まで一括りにして解説することが多かった「推進者」を、「トップ」、「管理者」、「推進事務局」に分けて、その役割と責任について考えていきます。第2回は、直近でお話をうかがった数名のトップの方々に、QC サークル活動に対する“本音”を語ってもらいました。またご本人の経験を踏まえて「他社のトップにお伝えしたいこと」もお聞きしています。第一線で現在活動されているサークルのみなさんの“ガイドライン（進むべき方向）”となれば幸いです。

★サークルQ&A ただいま出勤 QCサークル119番～あなたの困りごとに寄り添います～

p. 30～（サークル）

カルテ 187

今回は、メンバーに意見を求めてもなかなか意見が出なくなってしまったというお悩みです。6コママンガとともに編集委員がアドバイスします。

★体験事例&ワンポイント事例

今月は、体験事例3件紹介します。

体験事例： p. 36～

1.（サークル、製造、改善）

㈱豊田自動織機「エンハンスサークル」

「～職場のエースをねらえ！自ら立ち上がり、直球で勝負～ アッパー溶接工程における異常対応件数の低減」

2.（サークル、製造、改善）

トヨタ自動車㈱「全真空サークル」

「浸炭工程における破壊検査の低減」

3.（サークル、製造、改善）

イビデン㈱「チーム「D」サークル」

「レジスト工程におけるドライフィルム飛び不良の撲滅」

★運営のページ QC サークル活動運営の基本を学ぶ ー運営の工夫で楽しく活動してみませんかー

P. 48 (サークル、運営/推進)

第2回 メンバー同士、お互いのことを知る工夫

2025 年運営のページは、『QC サークル活動運営の基本』QC サークル本部編に書かれているような基本的な事項を一つひとつ取り上げて解説します。活動を始めたばかりのサークル、活動経験はあるものの疑問や不安を感じているサークルなどに、運営について体系的に学んでもらうことがねらいです。なぜそのような工夫が大切かといった一般論だけでなく、すぐに活用できる、真似したくなるような、楽しく活動できそうな運営の工夫の具体例を紹介していきますので、ぜひ活用してください。

★『QC サークル』誌活用・普及貢献賞受賞組織の『QC サークル』誌活用法

P. 50

久保誠電気興業㈱

2023 年度に『QC サークル』誌活用・普及貢献賞(2022 年度に創設)を受賞された組織に、『QC サークル』誌活用法をインタビューしました。ぜひ本誌活用の参考になさってください。

★私たちの活動を紹介します！<JHS(含む医療・福祉)部門編>

P. 52 (事務、販売・サービス)

日立建機㈱ 部品・サービスビジネスユニット「NSG12 サークル」

2024 年から継続の本企画は、紹介事例を JHS 部門にも広げていきます。サークルには改善の背景や内容について、推進者にはサークルの育成方法について紹介いただきます。今月は外注先への塗装依頼作業を軽減したサークルにスポットを当てます。

★QC検定道場

P. 54 (サークル、一般者(標準))

第2回 QC 的ものの見方・考え方

今月号は、品質管理を実施していくうえでの基礎となる QC 的ものの見方・考え方について紹介します。過去に出題された問題とその解説を通じて正しく身につけていきましょう。

★当社では、「連載講座 演習問題」をこう活用しています

P. 58

㈱アイエイアイ

本誌連載講座の演習問題を、組織全体で取り組まれている企業に、きっかけや活用方法を伺いました。ぜひ本誌活用の参考にしてください！

★連載講座：データのとり方・使い方・まとめ方

p. 60 (サークル、一般者(標準))

第2回 データとる、チェックシートの使い方

データに基づいて現状を把握することが大切ですが、データをなぜとるのか目的を明確にするとともに、データに応じた工夫も必要になります。データをとる、必要なアイテムとしてチェックシートをあらかじめ準備するなどが必要になります。今月号では、データのとり方、チェックシートの使い方について解説します。

☆『QCサークル』誌に貴社の広告を掲載しませんか？

会社や自社製品の PR の場として、ぜひご検討ください！

詳細はホームページ http://www.juse.or.jp/qc_circle/をご覧ください。

++++ 本件に関するお問合せ ++++++

一般財団法人 日本科学技術連盟 『QCサークル』誌編集

TEL : 03-5378-9817 E-mail : editoqcc@juse.or.jp

